
哀とA P X T 4 8 6 9

彩乃

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

哀とAPXT4869

【Nコード】

N2616B

【作者名】

彩乃

【あらすじ】

哀から差し出されたAPXT4869についてです。

(前書き)

「哀です。」「ナイン中心です」

俺は江戸川コナン

本当は工藤新一なんだけどな…。

俺はトロピカルランドの帰りに組織の奴らにAPXT4869を飲
まされて体が縮んだんだ。

――幼児化していたのだ。

俺は、組織の奴らを調べていた。

その組織のメンバー：シェリーこと宮野志保もAPXT4869を
飲んで幼児化した。

彼女も偽名を使い名前は灰原哀にした。

俺は哀を守るため組織を追いかけて続けた

――俺は哀を守り続けた。

彼女が不安がついているときも俺なりに助けてやった。

最初は幼なじみの蘭が好きだったけど、今は違う。

今は俺と同じ境遇にあった元組織の一員の哀が世界で一番好きにな
った。

哀の組織に居たときのつらさ、悲しさはしだいにわかってきた。
それが哀を好きになったきっかけである。

やっとのことで組織を倒した

哀が毎日薬を作ることに頑張ってくれたおかげで解毒剤も完成した。しかしその解毒剤が今回大きな問題になった。

「工藤君、解毒剤完成したわよ。」

哀から差し出された解毒剤

俺が彼女が苦労して解毒剤を作っていたことを知っている。

――寝る時間も惜しんで毎日作っていた。

解毒剤を差し出された瞬間、俺は哀に苦労させてしまっただけで悪いなと思いつつ解毒剤を受け取った。

哀には申し訳なくてしょうがない・・・

元の高校生に戻りたいのはやまやまだけど哀のことを思うととてもじゃないけど戻れなかった。

「工藤君、どうしたの？ やつとでできた解毒剤よ……飲まないの？」

あなたは、APXT4869を飲んで探偵事務所の彼女のところに行くんでしょ？」

さびしげな哀の表情

哀は俺のことをどう思っているのだろうか・・・

悲しそうにうつむく哀

哀は俺に元に戻って欲しくないのか？

お前だって元に戻るんだせ・・・嬉しくねえのか・・・

・元の姿に戻ったら俺たち二人で愛を築きあおうと思っているのに・・・

哀は違うのか？

「なあ、哀」

「何？」

「哀は解毒剤で元に戻らねーのか？」

「本当はそうしたいところよ・・・」

でも完成された解毒剤は工藤君、今あなたがもっている解毒剤
ただひとつしかないのよ……」

「解毒剤はひとつしかないのか？ならその解毒剤、お前に渡すよ……」

哀、お前が元の姿にもどれ！！俺はこのままの姿でいい」

「でもあなたには、探偵事務所の彼女がいるのよ。
彼女のために元に戻らなければいけないわ！」

「いや、いいんだ・・・」

そりゃあ過去は幼なじみの蘭が好きだった。

でもな今は、俺と同じ境遇にあった哀、

お前のことが世界で一番好きなんだよ……。

お前のためだったらコナンの姿でもかまわないぜ！

蘭には後から事情を話すから・・・

俺はもとに戻らねー

江戸川コナンとして

ずっとお前のことを思い続ける。

もう一回言わせてくれ．．

‘俺はお前のこと世界で一番好きだ’ 哀はどうなんだ？

「私も工藤君のこと世界で一番好きよ。最初はあなたみたいな探偵は苦手だったわ。

気が合わないと思っていた。

けどあなたにはいっぱい助けてもらった

それが何よりも嬉しかったわ。

そんなあなたに惹かれてしまったわ。

私もあなたのこと大好きだわ。

あなたももとに戻らないのなら、私も戻らないわ。」

「じゃあ解毒剤はどうするんだ？」

「もうひとつ完成するまでとっておきましょう…そして完成したら一緒に飲んでもとに戻りましょ

それまでは小学生として頑張ってましょね。」

「ああ…哀と一緒になら小学生のままでかまわねーぜよろしくな、哀」

「ええ、よろしくね工藤君そして江戸川君．．．」

俺と哀はお互いに握手をした。
そしてもとに戻るときは一緒に解毒剤を飲もうと誓った。

（後書き）

では悪いです。

感想お願いしますね
ミ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2616b/>

哀とA P X T 4 8 6 9

2010年10月11日11時34分発行